

目標達成状況及び達成に向けた課題

- 1 現行計画目標値の達成状況
- 2 一般廃棄物の課題
- 3 産業廃棄物の課題
- 4 食品ロスの現状
- 5 廃棄物の適正処理の現状
- 6 ごみ処理広域化の現状

【参考】一般廃棄物 1人1日当たりのごみ排出量の推移

【参考】一般廃棄物 リサイクル率の推移

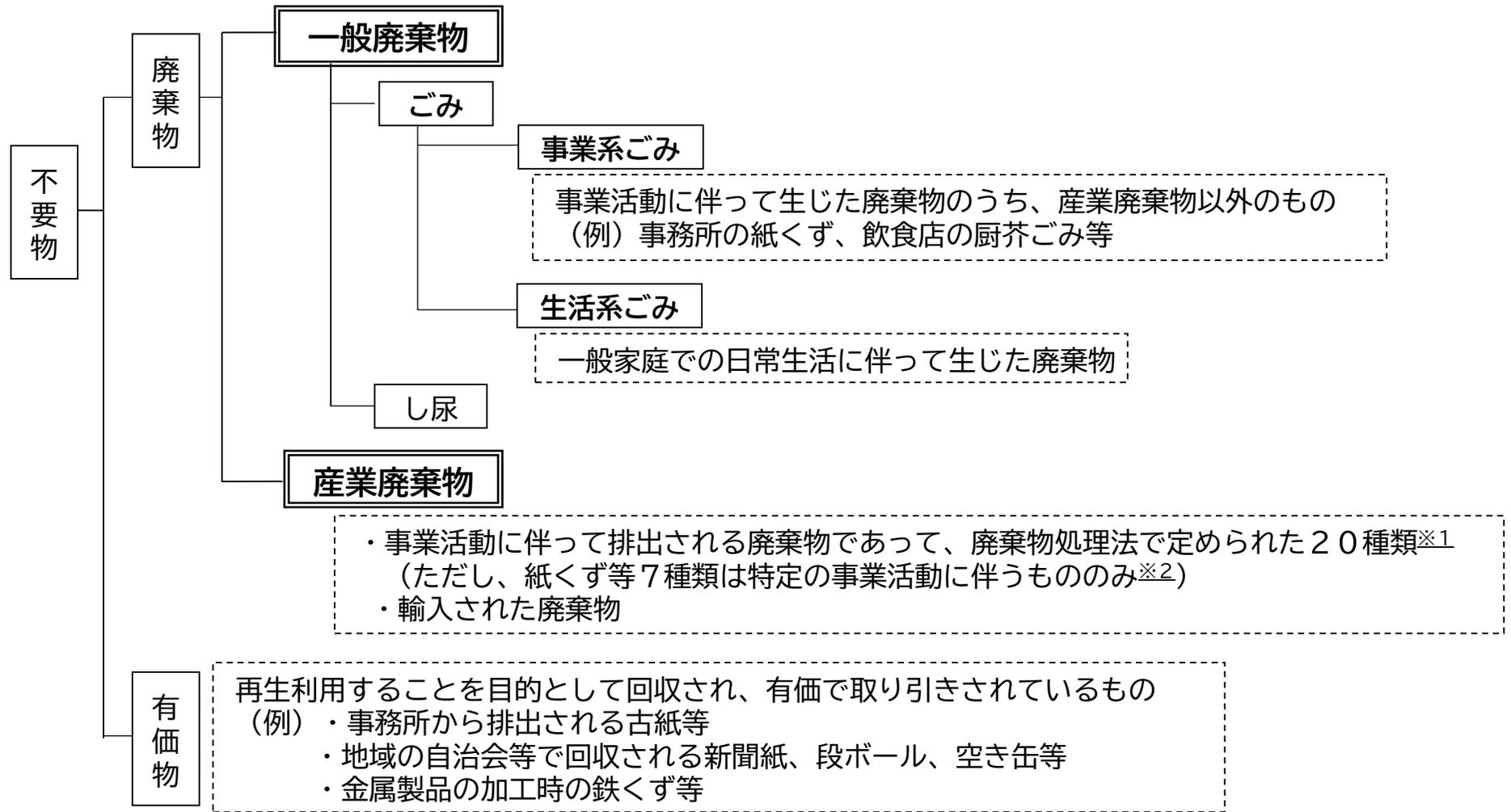
【参考】一般廃棄物 最終処分率の推移

【参考】産業廃棄物 排出量の推移

【参考】産業廃棄物 リサイクル率の推移

【参考】産業廃棄物 最終処分率の推移

参考 廃棄物の区分について



※1：①燃えがら、②汚泥、③廃油、④廃酸、⑤廃アルカリ、⑥廃プラスチック類、⑦ゴムくず、⑧金属くず、
⑨ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、⑩鋳さい、⑪がれき類、⑫ばいじん、⑬紙くず、⑭木くず、⑮繊維くず、
⑯動植物性残渣、⑰動物系固形不要物、⑱動物のふん尿、⑲動物の死体、⑳上記の産業廃棄物を処分するために処理したもの

※2：※1に示す20種類のうち、下線で示した7種類

1 現行計画目標値の達成状況

- 一般廃棄物は、リサイクル率及び最終処分率が暫定目標値未達成。
- 産業廃棄物は、全体として概ね順調に推移している。

項目		実績値		R5暫定目標値と達成状況			最終目標値
		H30年度 計画基準年	R5年度 最新実績値	R5暫定 目標値 ※1	暫定目標値 達成状況 ※2	暫定目標値 との乖離	第3期目標 値 R12年度
一般 廃棄物	1人1日当たりの 排出量 (g/人・日)	982	923	952 以下	○	-	910
	生活系ごみ	678	645	657 以下	○	-	625
	事業系ごみ	304	278	295 以下	◎	-	285
	リサイクル率(%)	25.5	22.6	27.4 以上	×	▲4.8pt	30.0
	最終処分率(%)	11.6	11.3	11.1 以下	△	▲0.2pt	10.5
産業 廃棄物	排出量(千t)	10,962	10,468	10,561 以下	○	-	10,000
	リサイクル率(%)	35.6	36.3	35.0 以上	◎	-	35.0
	最終処分率(%)	1.7	1.3	1.4 以下	○	-	1.0

※1 暫定目標値は、計画基準年度の実績を基準にR12目標値までの均等割で算出

※2 ◎：目標値(R12)達成

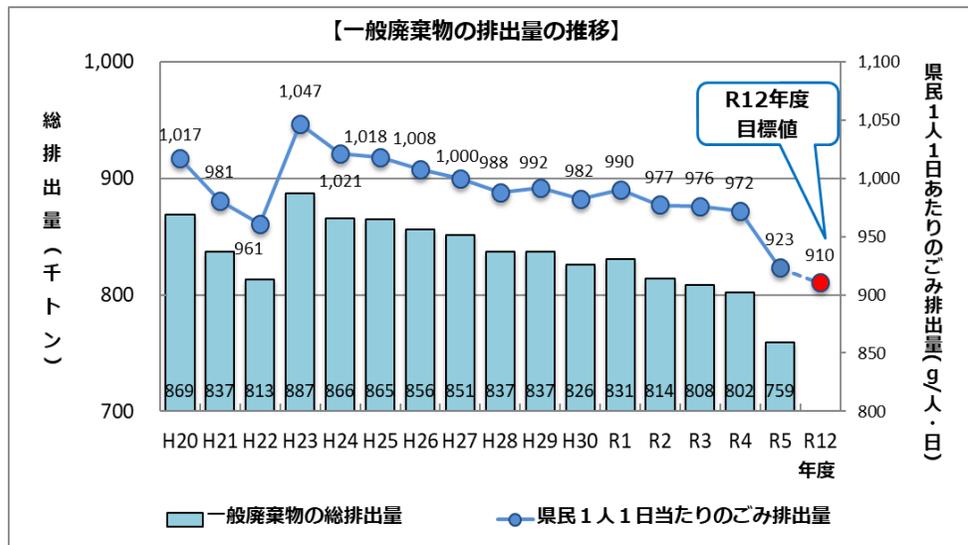
○：暫定目標値 (R5/R4) 達成

△：暫定目標値 (R5/R4) 未達成だが計画基準年度より改善

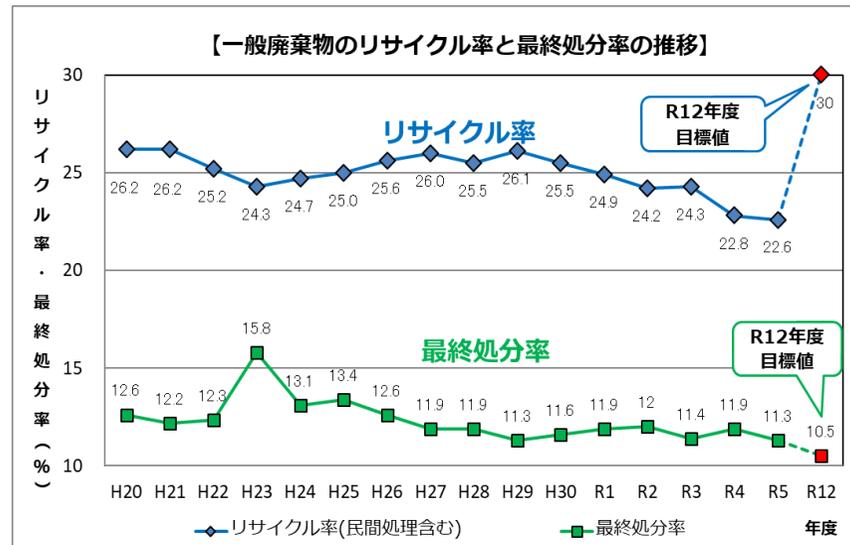
×：暫定目標値 (R5/R4) 未達成かつ計画基準年度より後退

1 現行計画目標値の達成状況

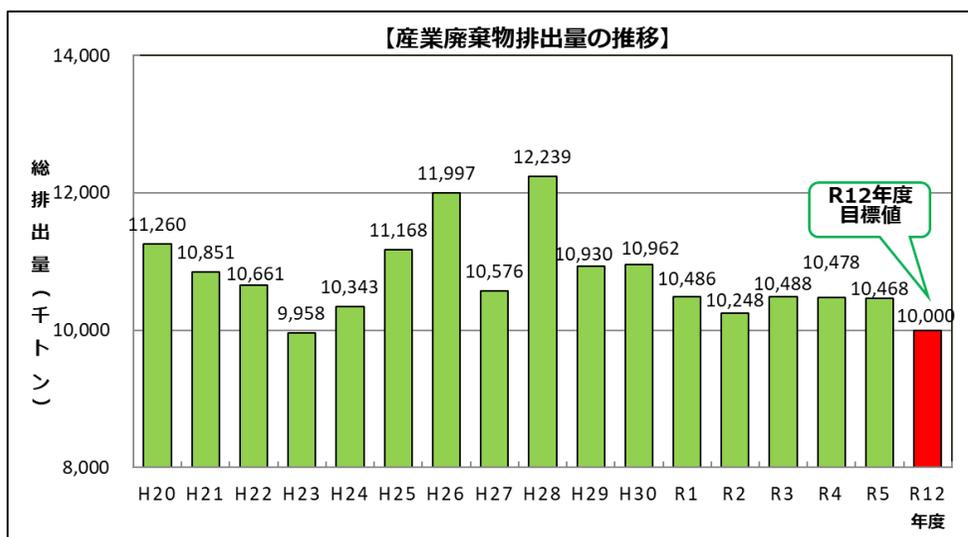
■一般廃棄物の1人1日当たりのごみ排出量の推移



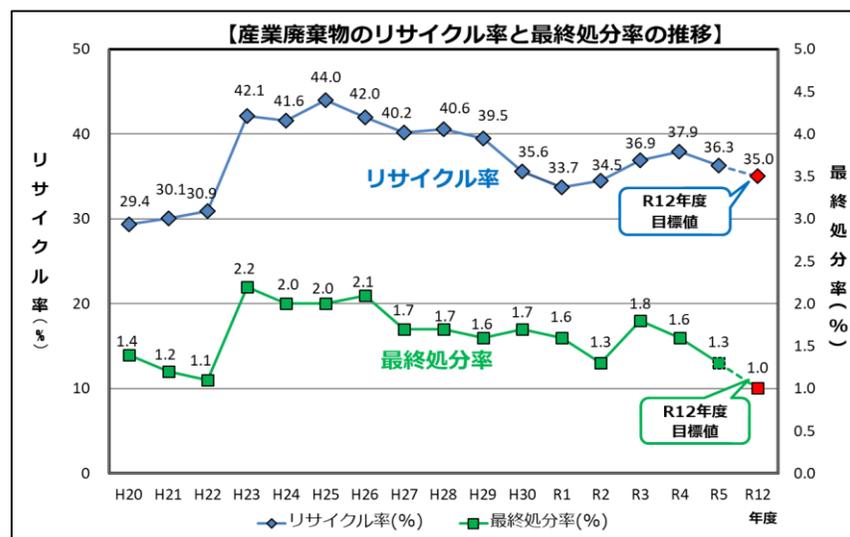
■一般廃棄物のリサイクル率、最終処分率の推移



■産業廃棄物の排出量の推移

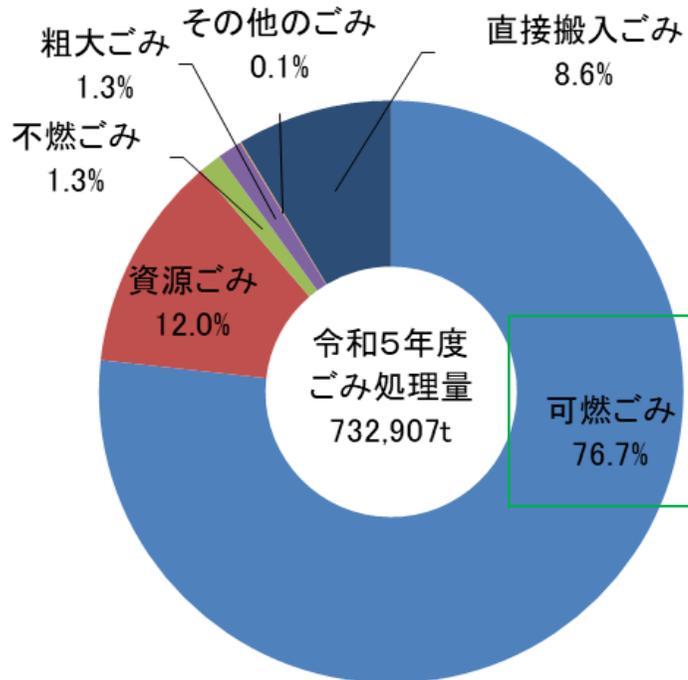


■産業廃棄物のリサイクル率、最終処分率の推移

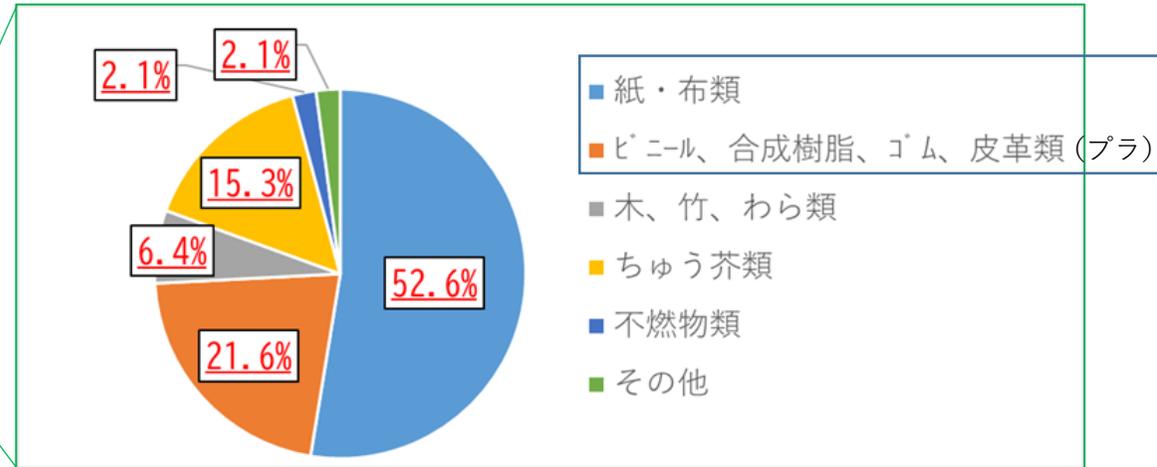


2 一般廃棄物の課題

■ 一般廃棄物のごみ処理量内訳



■ 令和5年度可燃（焼却）ごみの内訳



- 一般廃棄物のごみ処理量の76.7%が可燃ごみとなっている。
- 焼却ごみ（可燃ごみ）の内訳を見ると、資源となる「紙・布類」と「プラスチック等」が74.2%を占めており、適切に分別して排出すればこれらもリサイクル可能となる。
- また、資源物の次に大きな割合を占めるのはちゅう芥類（生ごみ）で15.3%となっている。「食材を使いきる、食べきる、捨てる際に水気をきる」などの取組を進め、減量化を図る必要がある。

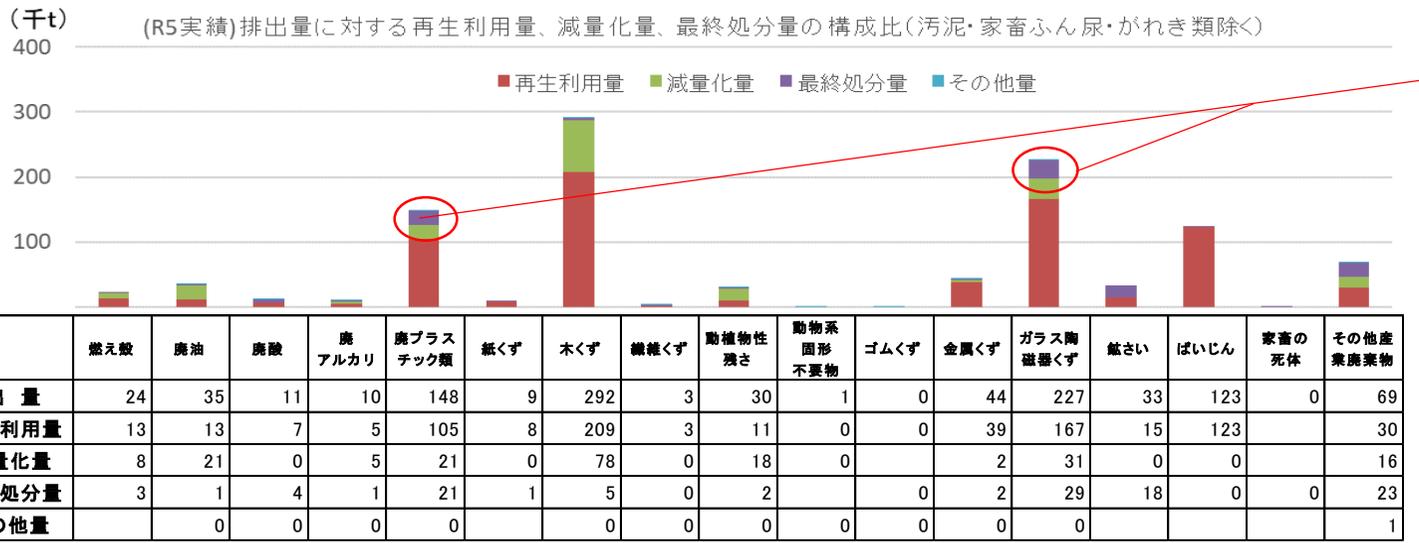
3 産業廃棄物の課題

(R5実績)排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比



汚泥・家畜ふん尿・がれき類除く

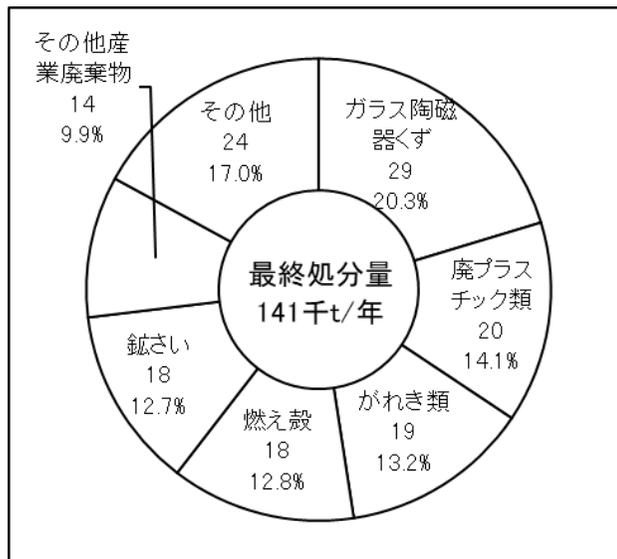
(R5実績)排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比(汚泥・家畜ふん尿・がれき類除く)



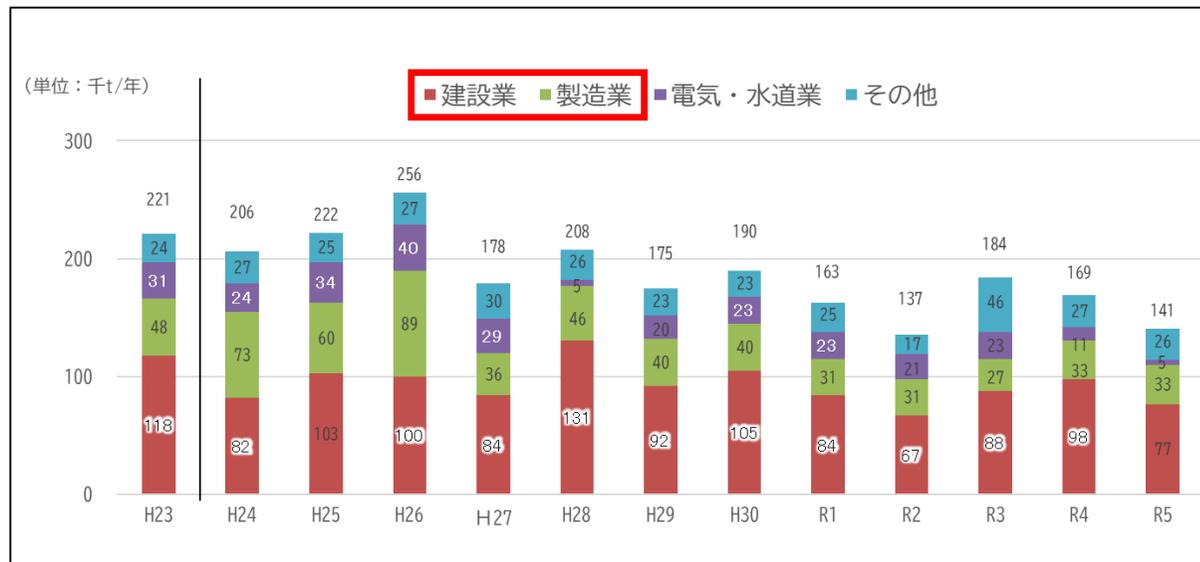
廃プラスチック類、ガラス陶磁器くずの最終処分量が多い。

3 産業廃棄物の課題

産業廃棄物の最終処分量の内訳【種類別】 (R5)



産業廃棄物の最終処分量の推移【業種別】



➤ 最終処分量の推移を業種別に見ると、「建設業」及び「製造業」による最終処分（埋立）の割合が多い。

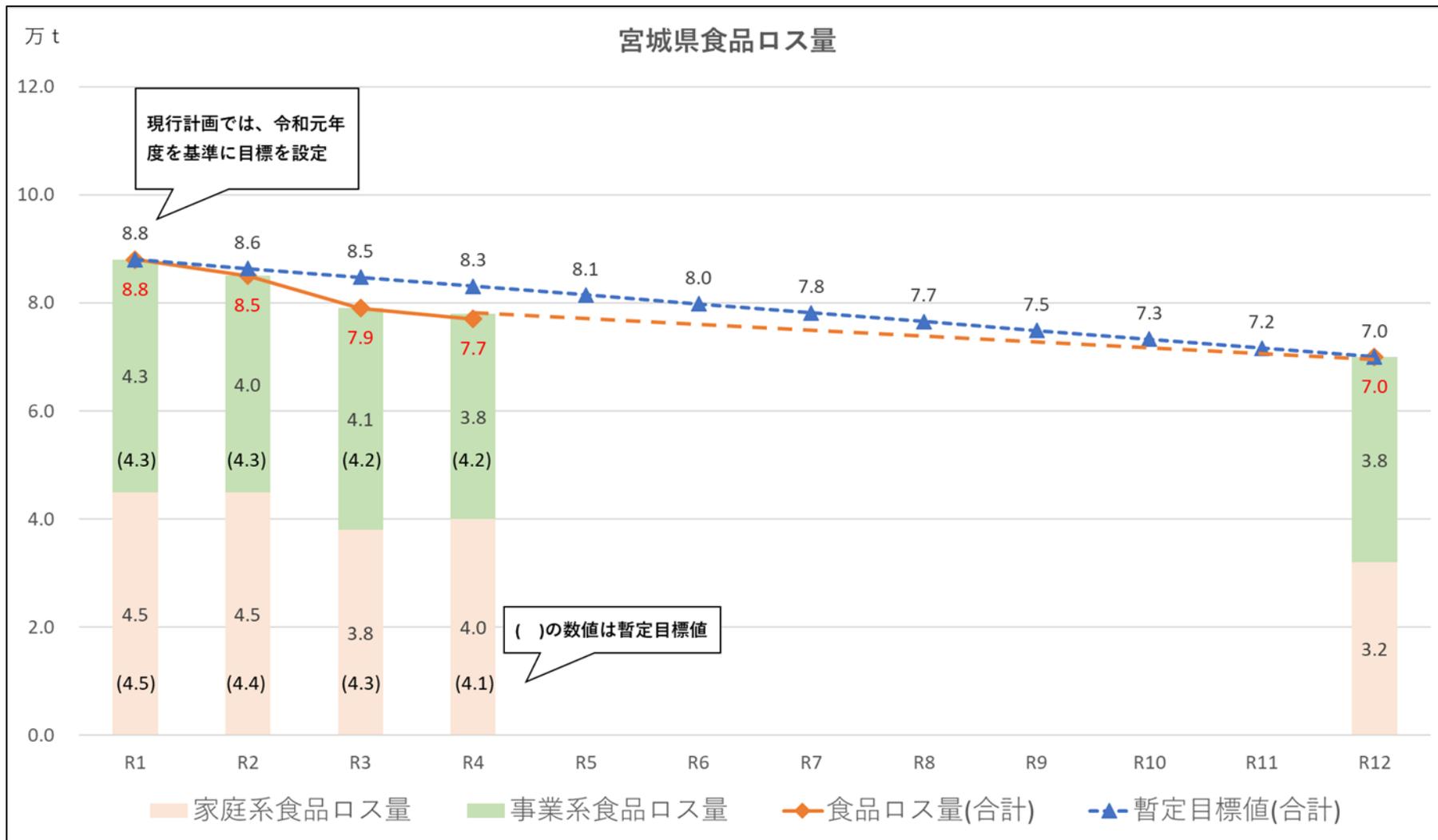
【建設業の取組例】

- ・ 建設副産物の分別排出と再資源化、分別解体の徹底（建設リサイクル法）、建築物の長寿命化 など

【製造業の取組例】

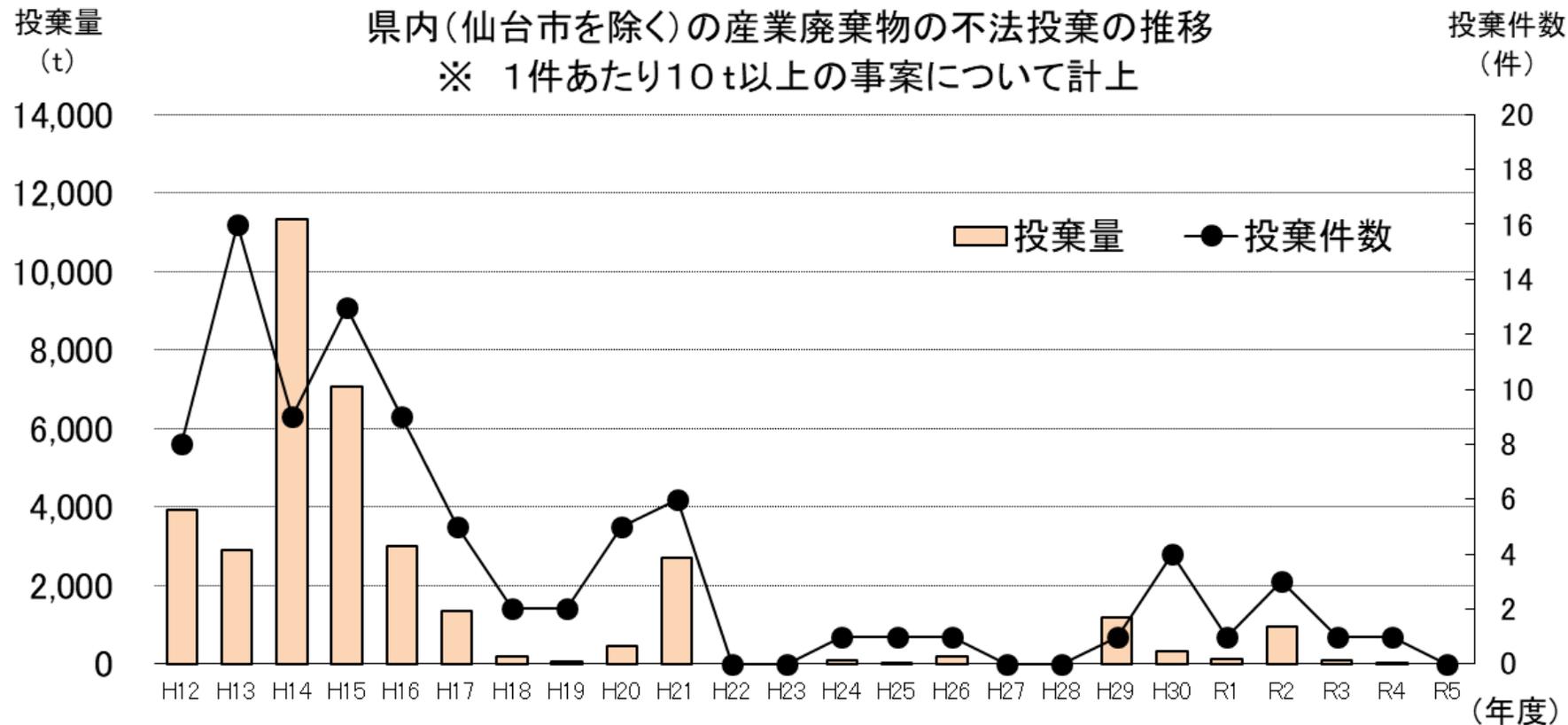
- ・ 製造工程での歩留まり向上、副産物や廃棄物の有効利用、製品設計段階での廃棄物削減 など

4 食品ロスの現状



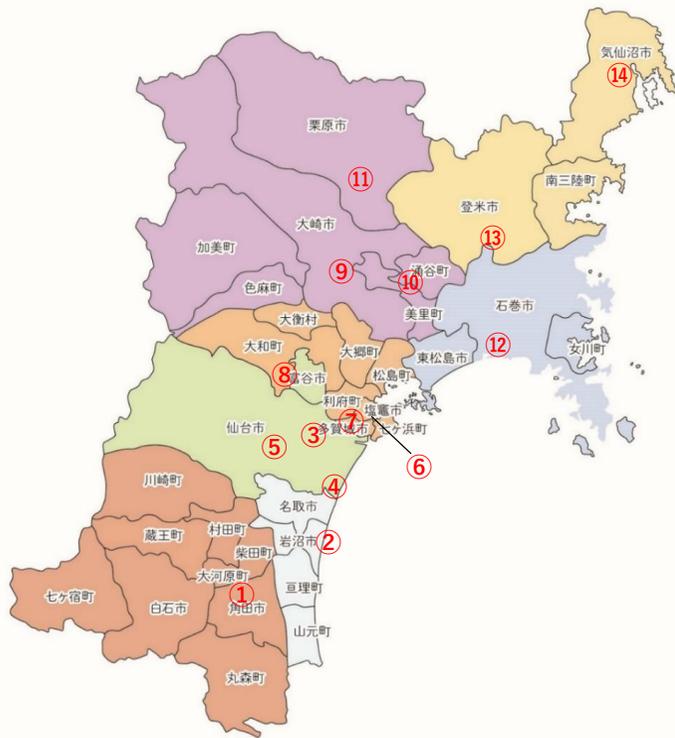
- 食品ロス量は、R4暫定目標値を達成。
- 国・県ともに、事業系食品ロス量は、令和4年度に令和12年度目標を達成。国では、更なる削減目標を設定（50%削減→60%削減）

5 廃棄物の適正処理の現状



- 10トン以上の廃棄物の不法投棄の状況は、平成17年4月に産業廃棄物税を導入し、各保健所へ産廃Gメンを設置するなど監視体制を整備したことで、投棄件数・投棄量ともに大幅に減少。

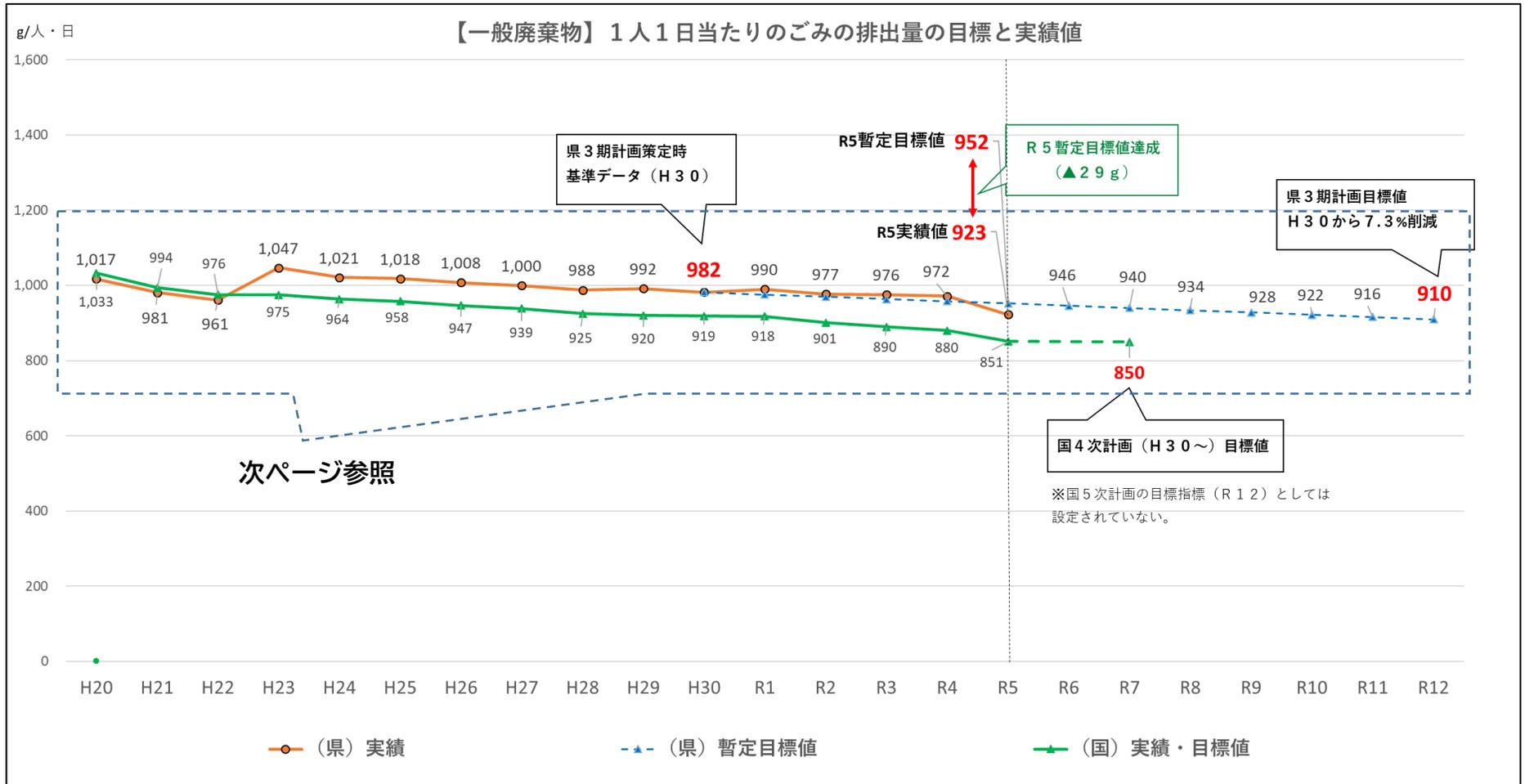
6 ごみ処理広域化の現状



広域ブロック	H11計画	No.	設置主体名	施設名称	規模t/日	設置年
仙南	4 ⇒ 1	①	仙南地域広域行政事務組合 (白石市、角田市、蔵王町、 七ヶ宿町、大河原町、村田 町、柴田町、川崎町、丸森 町)	仙南CC	200 (2炉)	H29.3
亶理・名取	3 ⇒ 1	②	亶理名取共立衛生処理組合 (名取市、岩沼市、亶理町、 山元町)	岩沼東部環境 センター	157 (2炉)	H28.3
仙台・富谷	5 ⇒ 3	③	仙台市	松森工場	600 (3炉)	H17.8
		④		今泉工場	600 (3炉)	S60.12
		⑤		葛岡工場	600 (2炉)	H7.8
宮城・黒川	4 ⇒ 1	⑥	塩竈市	清掃工場	90 (1炉)	S51.5
		⑦	宮城東部衛生処理組合 (多賀城市、松島町、七ヶ 浜町、利府町)	ごみ焼却施設	180 (2炉)	H7.3
		⑧	黒川地域行政事務組合 (大 和町、大郷町、大衡村)	環境管理 センター	50 (2炉)	H30.3
		⑨	大崎地域広域行政事務組合 (大崎市、色麻町、加美町、 涌谷町、美里町)	中央CC	140 (2炉)	R4.3
大崎・栗原	5 ⇒ 1	⑩	栗原市	東部CC	144 (2炉)	H3.3
		⑪		栗原市CC	80 (2炉)	H1.3
石巻	7 ⇒ 1	⑫	石巻地区広域行政事務組合 (石巻市、東松島市、女川 町)	石巻広域CC	230 (2炉)	H15.2
気仙沼・登米	3 ⇒ 1	⑬	登米市	登米市CC	70 (2炉)	H31.1
		⑭	気仙沼市	ごみ焼却場	162 (2炉)	H7.2

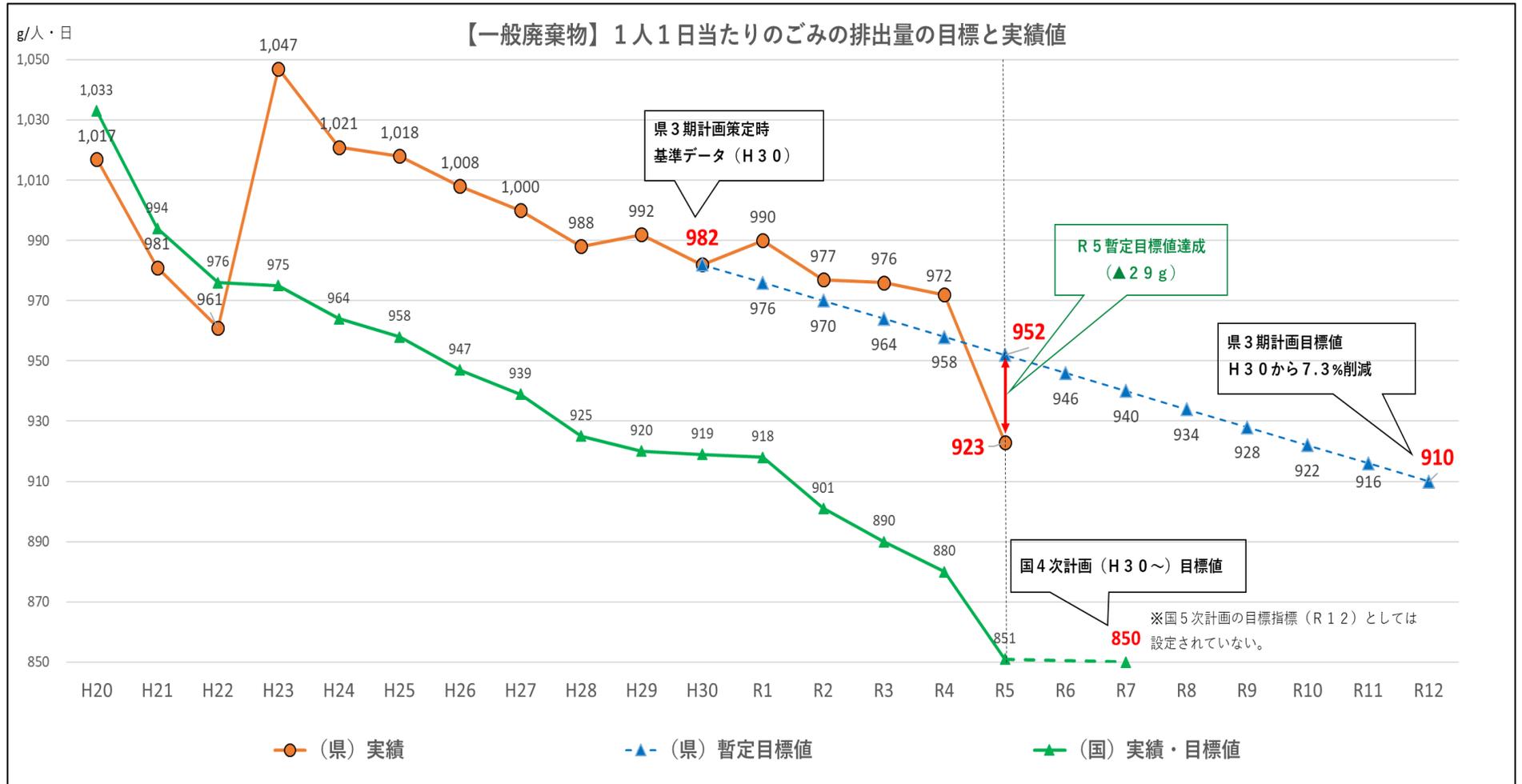
- ごみ焼却に伴って発生するダイオキシン類の削減等を図るため、宮城県ごみ処理広域化計画をH11.3に策定。
- 県内を7つの広域ブロックに区域分けし、広域的なごみ処理体制を確立していくこととした。
- 広域化計画に基づき、策定当時設置されていた焼却施設31施設を、R6年度末時点で14施設までに集約したが、更なる取組が必要となっている。

【参考】一般廃棄物 1人1日当たりのごみ排出量の推移

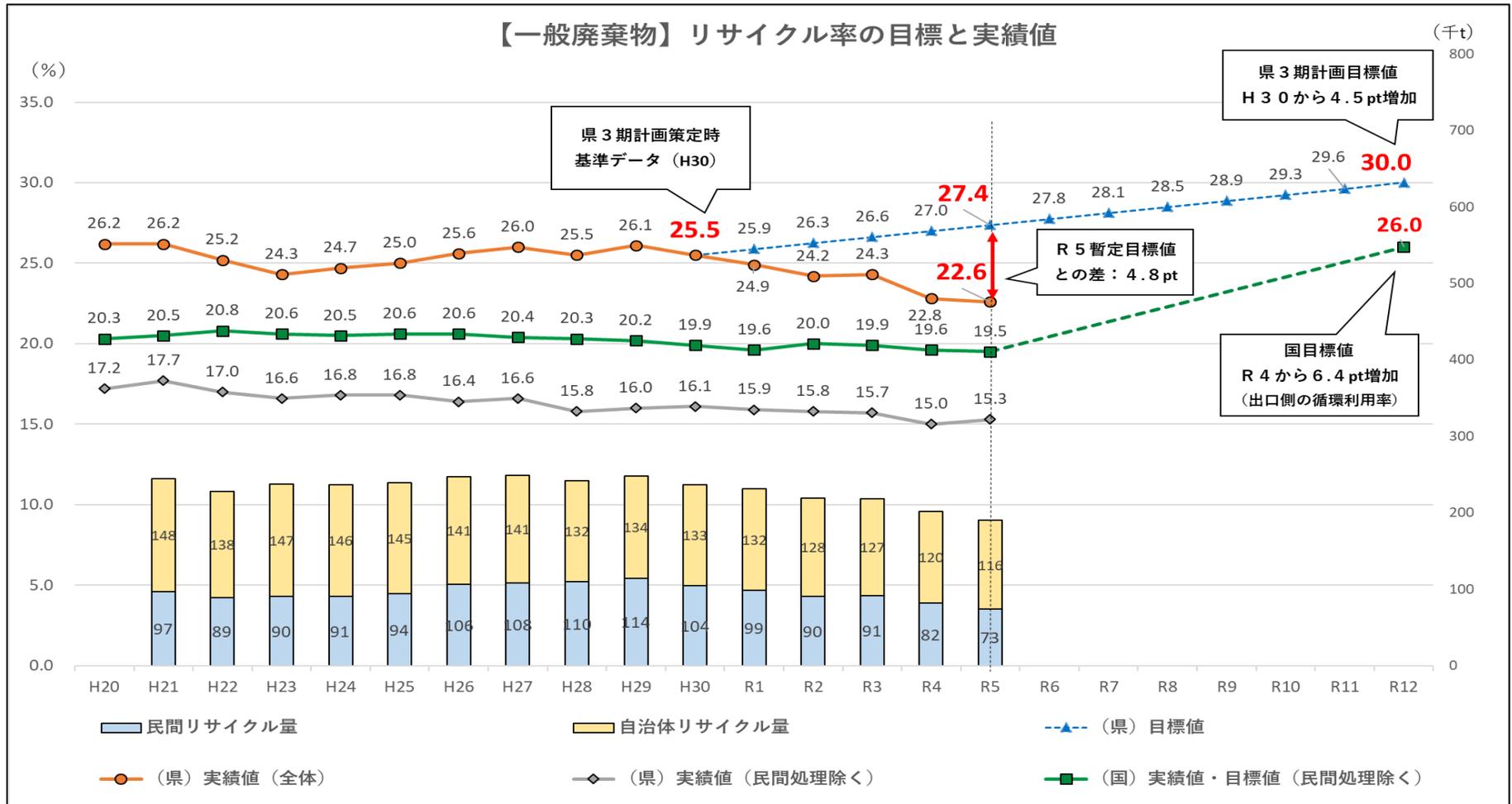


- 一般廃棄物の「1人1日当たりのごみの排出量」は、全体としては改善傾向にある。
- R5暫定目標値と比較すると、現状(R5実績)は▲29グラムと、R5暫定目標値は達成。
- R1年度以降、コロナ禍の影響もあり市町村の処理施設に直接搬入される量が増加した。
- R5は排出量が大幅に減少したが、全国平均値も同様に減少。物価高騰等による消費行動の抑制の影響(一時的な減少の可能性?)も考えられる。
- 一般廃棄物排出量の約7割を占める「生活系ごみ」の排出削減が一層必要となる。

【参考】一般廃棄物 1人1日当たりのごみ排出量の推移（詳細）

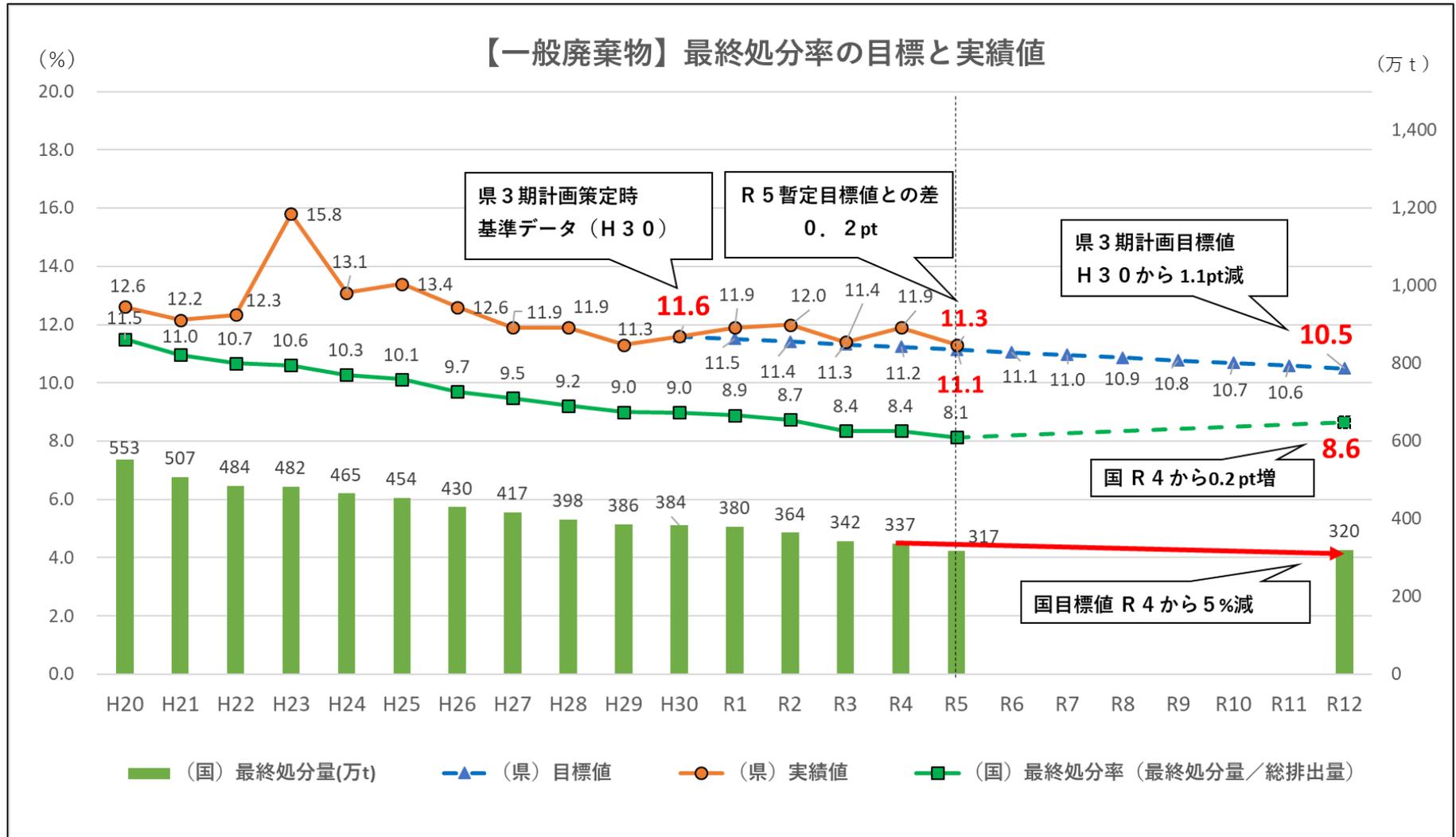


【参考】一般廃棄物 リサイクル率の推移



- 一般廃棄物の「リサイクル率」は、H30年度以降、低下傾向にあり、R5暫定目標値は未達成。
- ペーパーレス化やガラス瓶商品の減少による古紙やガラス類等の資源回収量の減少などにより、再資源化量は減少傾向にある。
- 近年は、フリマアプリ市場の拡大により個人間でのリユース取引が増加していることや、小売店における店頭回収リサイクル、飲料メーカーによるペットボトルの水平リサイクルといった取組が進んでいる。
- これらの個人や民間事業者によるリユース・リサイクルが進んだ結果、自治体のリサイクル率は低下傾向にあるが、個人や民間事業者によるリサイクルの実態把握が難しくなっている。
- 現在実施している民間リサイクルに関する調査の捕捉範囲拡大が課題の一つと考えられる。

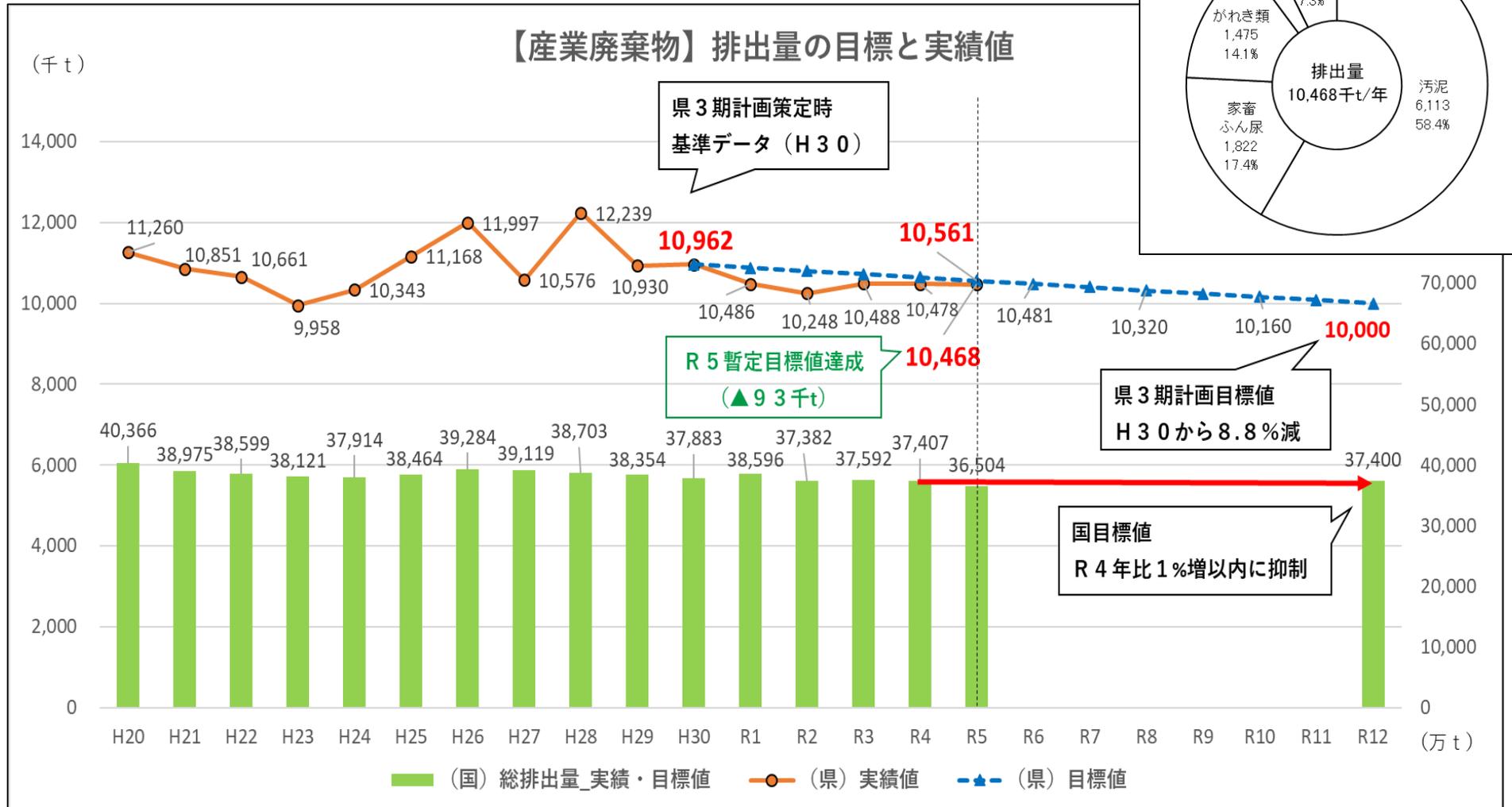
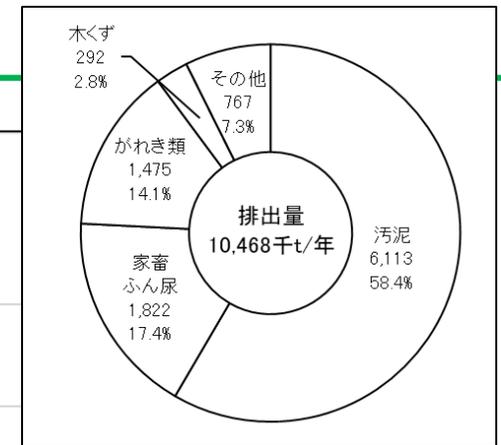
【参考】一般廃棄物 最終処分率の推移



- 一般廃棄物の「最終処分率」は年度によって増減があるものの、R5 暫定目標値と比較すると、現状 (R5 実績) は+0.2ptとなっており、R5 暫定目標値は未達成。
- リユースの推進や分別の徹底など、更なる改善が必要。

【参考】産業廃棄物 排出量の推移

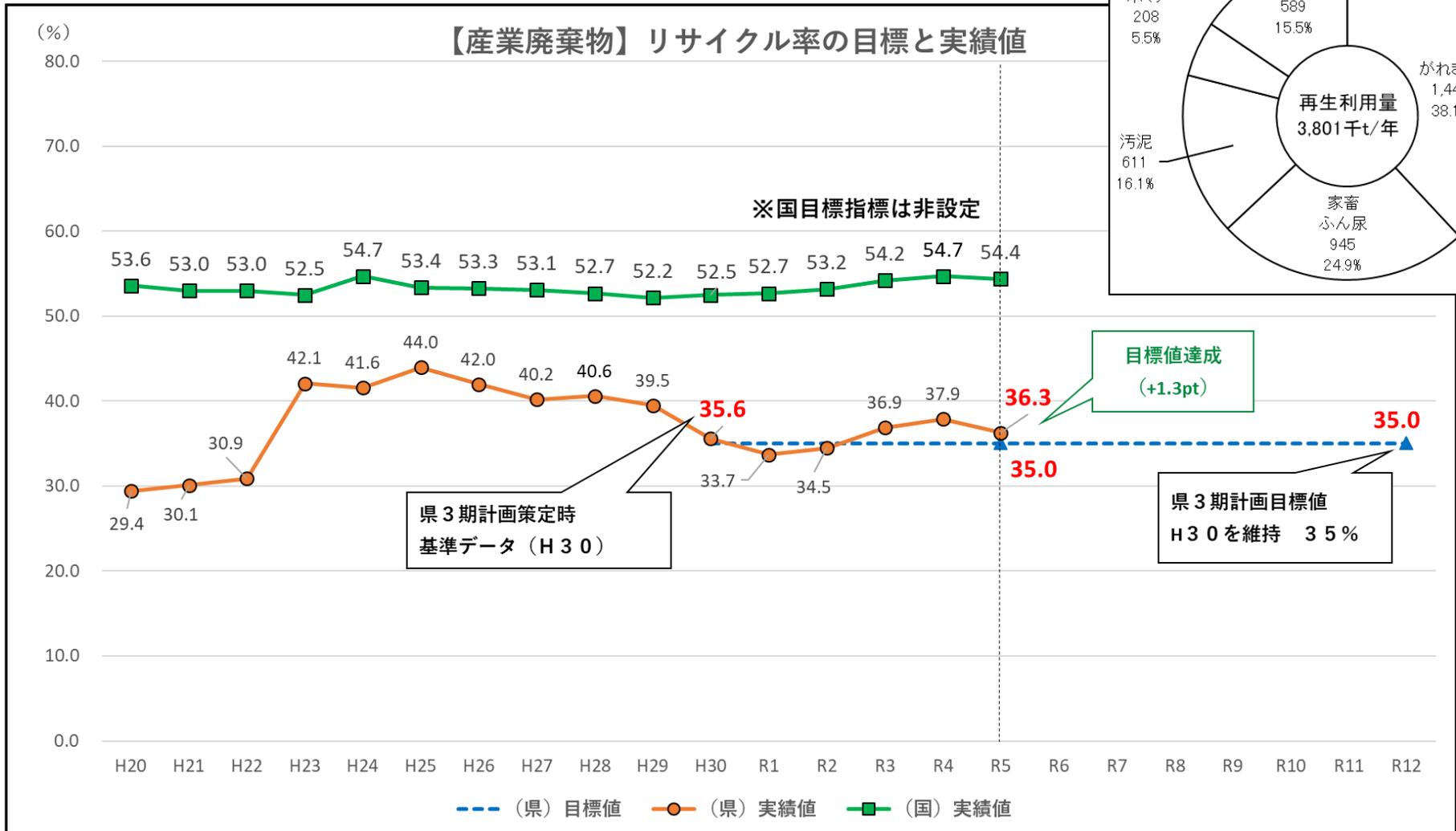
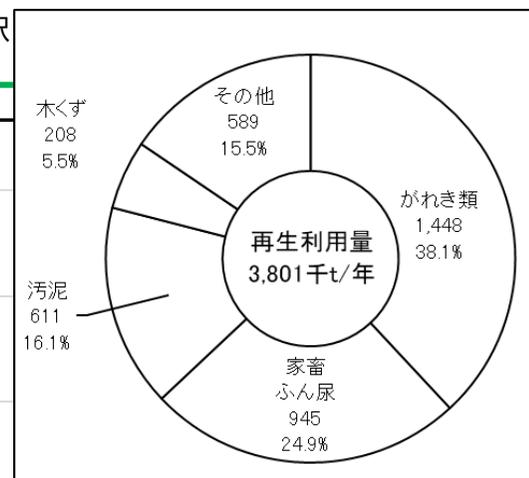
県排出量の内訳
(令和5年度)



- 産業廃棄物の「排出量」は年度によって増減があるものの、R5 暫定目標値と比較すると、現状 (R5 実績) は▲93千tとR5 暫定目標値を達成。
- 汚泥 (59.7%)、家畜ふん尿 (16.9%)、がれき類 (13.6%) が全体の約9割を占める。

【参考】産業廃棄物 リサイクル率の推移

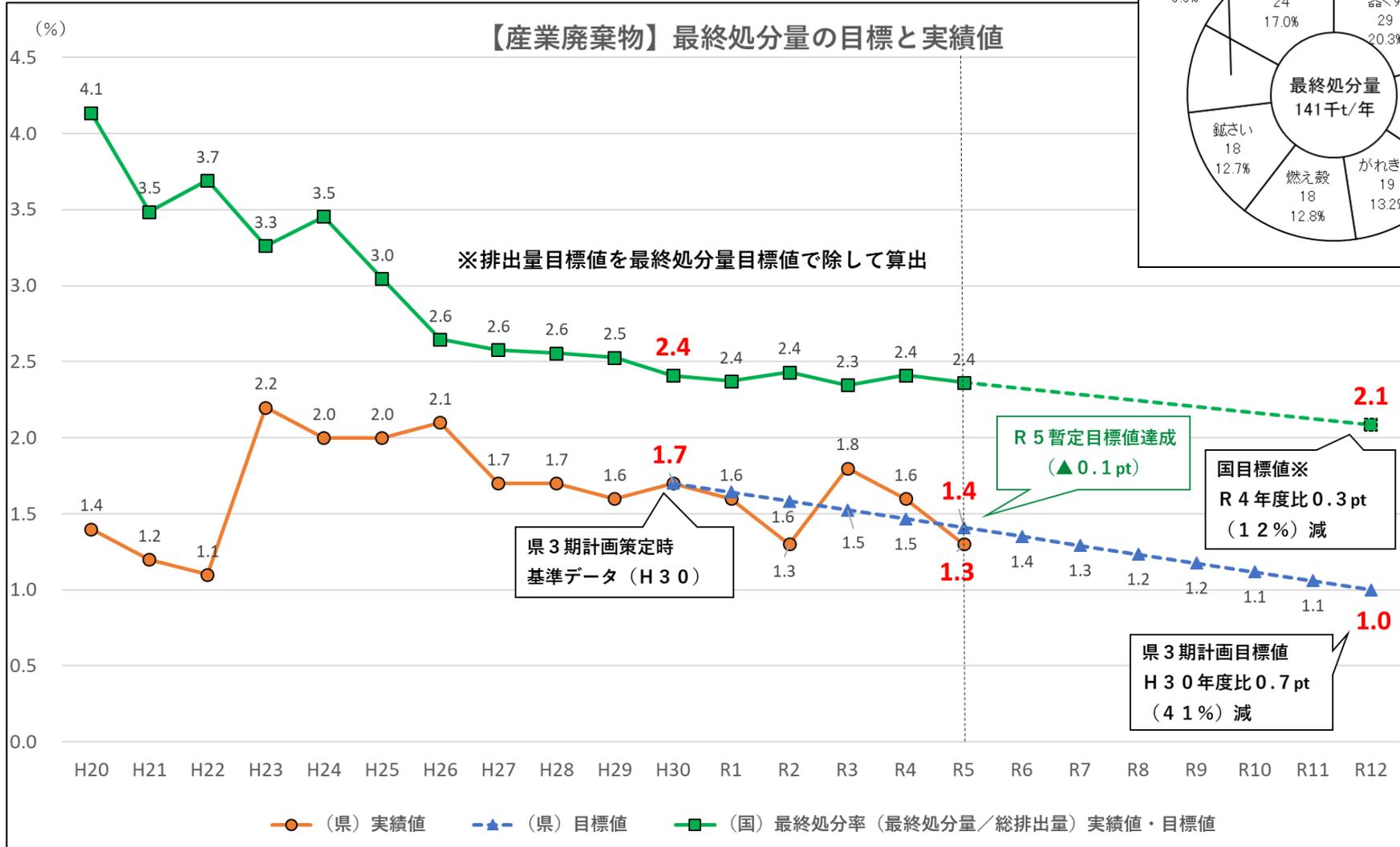
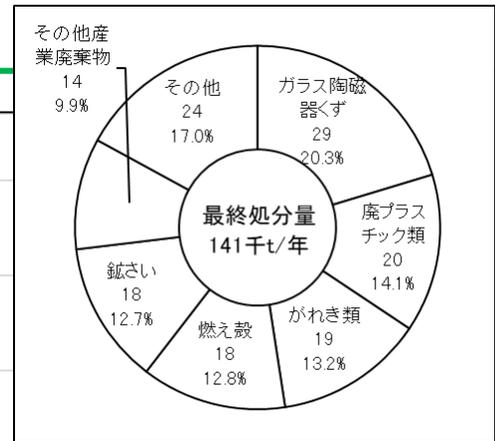
県再生利用量の内訳
(令和5年度)



- 産業廃棄物の「リサイクル率」は、H25年度以降、震災復旧工事の減少によるぐれき類の排出量減少に伴い低下傾向にあったが、R5実績はR4実績よりも下がっているものの、R2年度以降は再度改善傾向に転じている。
- 現状 (R5実績) は、目標値を達成 (+1.3pt) している。

【参考】産業廃棄物 最終処分率の推移

県最終処分量の内訳
(令和5年度)



- 産業廃棄物の「最終処分率」は改善傾向にあり、R5暫定目標値と比較すると、現状（R5実績）は▲0.1ptとR5暫定目標値を達成し、傾向としては概ね順調に推移している。
- 廃石膏ボードなどのガラス陶磁器くずや廃プラスチック類などのリサイクルが課題。